

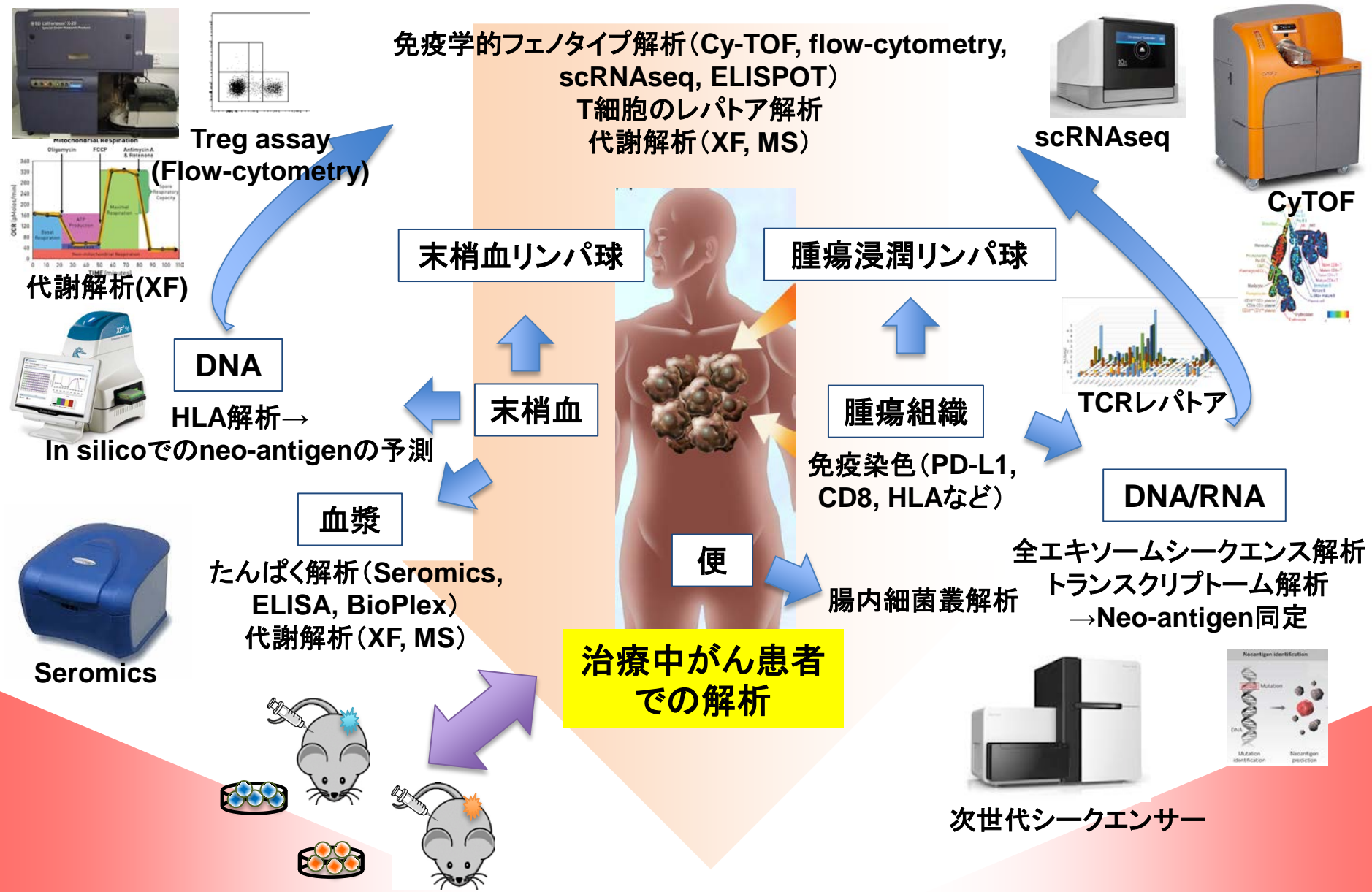
課題名（公開可能な）	担がん患者における腫瘍および腫瘍微小環境の網羅的免疫モニタリング
研究代表者と所属	西川博嘉 免疫トランスレーショナルリサーチ分野（柏）
共同研究者と所属	

	Novelty	Speed	Capacity	Versatility	Cost	Human sample
Evaluation methods & systems	◎	◎	○	◎		◎
Novel original cell lines						
New target identification	○			○		◎
Platform technologies	◎	◎	○	◎		◎
Compounds, Antibody, etc						

Strongest point=◎ Strong point=○ Weak point=×

対象疾患	全癌種可能
アセットの概要	腫瘍 DNA/RNA のエクソーム解析・トランスクリプトーム解析による評価に加えて、末梢血だけでなく腫瘍浸潤免疫担当細胞を生きた状態で抽出しシングルセルレベルで細かいマーカーや機能まで解析や薬剤によるアッセイが可能である。シングルセルレベルの解析には 30 色程度のフローサイトメーターや 40 色程度の CyTOF、さらにはシングルセル RNA シークエンスも導入している。生検検体でも解析できる系を確立しており、薬剤などの影響も動的にモニタリングできる。同時に血中サイトカインや自己抗体の測定、代謝解析も導入している。現状既に肺癌や消化器癌を中心に検体が 800 以上ストックされており、ニーズに応じた解析が可能である。
関連する研究費（申請中を含む）	AMED 次世代がん、AMED-CREST、科研費など
論文、特許、共同研究、grant	主な論文：Nat Med 2016; 22: 679-84. 共同研究：治験に関連した解析研究を複数の会社と共同研究している Grant: AMED 次世代がん、AMED-CREST、科研費など

抗腫瘍免疫応答の網羅的解析・実験系での探索/検証



実験系での探索/検証